



学校だより

令和5年5月31日
横浜市立上白根小学校
【6月号】

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



「スポーツフェスティバル」

副校長 内 和俊

風薫る5月から、梅雨の6月を迎えます。子どもたちも新しい学年がスタートして2か月経ちました。1年生は学校に慣れ、2～6年はよきお兄さん、お姉さんとして下学年を上手にリードしてくれています。先日は快晴の中、4年ぶりとなる全校でのスポーツフェスティバルを開催いたしました。たくさんの保護者の方にご覧いただき、またスムーズな進行にご協力いただきありがとうございました。子どもたちの頑張りはいかがだったでしょうか？

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ブロックごとに参観人数を制限した中で開催しました。この4年間その時々で工夫しながらできる形を模索して実施してきましたが、制限のためお互いの演技や競技を生で見たり、高学年の児童が全体の運営に力を発揮したりすることは難しい状況がありました。この反省をふまえ、様々な事態を想定しながら昨年の段階から少しずつ話し合いを重ねて内容を検討してきました。今年度は、4年ぶりに5・6年生を中心に応援団やスローガンなど実行委員を組織して、スポーツフェスティバルを盛り上げるために活動したり、演技を2学年ごとにブロックで行うことにしてお互いに協力し合ったりと、子どもたちの関わり合いを大事に活動してきました。校庭に響く応援団の練習の音、それぞれの学年の演技を練習する音や掛け声など、コロナ禍前の熱気やにぎやかさが戻ってきたように感じました。

そして当日、どの子も真剣なまなざしで競技や演技に参加し、自分のもてる力を存分に発揮していました。自分たちの目標に向かって練習した成果を十分に発揮する子どもたちの姿は本当に輝いて見えました。結果はともあれ、練習から当日に至るまで一生懸命に頑張ったことに大きな意味があると思います。それが達成感や満足感を生み、自信につながっていくこと、また仲間同士協力をしながら取り組んだことが絆となって、今後の学年や学級としての活動につながっていくと信じています。最後になりましたが、スポーツフェスティバルに向けて、体調管理や準備、また励ましなど子どもたちを支えていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。